

安全・安心な細菌から外膜小胞ワクチンをつくります

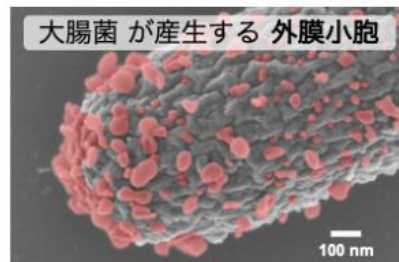
自己紹介



我が国発
世界標準となる
ワクチン開発基盤
の構築を目指します

どんな新しい技術ですか？

安全性の高い大腸菌が作り出す
外膜小胞（小さな粒子たち）でワクチンをつくります



* 赤い粒々が 外膜小胞です

どんなことが解決できますか？

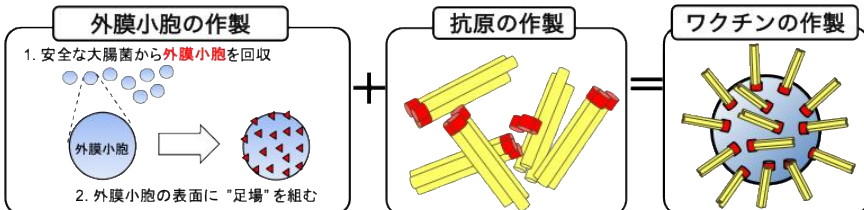
本研究構想の安全な外膜小胞ワクチンのプラットフォームは、外膜小胞担体（共通モジュール）を用いるユニバーサルなワクチンモダリティです

今回はインフルエンザウイルスを研究開発の対象にしますが、その他の重点感染症等ワクチン開発に展開することが可能です

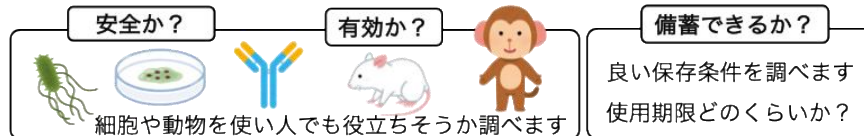
感染症有事に向けた強固な備え

どんな研究ですか？

① 外膜小胞ワクチンを作る（今回はインフルエンザのワクチンをつくります）



② 作製した 外膜小胞ワクチンを調べる

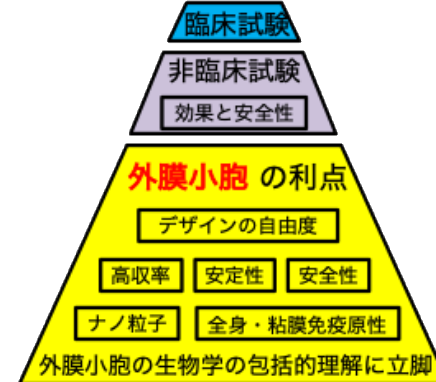


目標

実践

本研究

外膜小胞ワクチンの開発



様々な研究分野の専門家が力を合わせて取り組みます

Bacteriology	Vaccinology	Molecular Biology	Animal Science
Bio-engineering	Chemical Engineering	CMC	Bioinformatics

基本情報

対象病原体	インフルエンザウイルス
モダリティ	外膜小胞ワクチン
投与経路	経鼻投与・筋肉内投与
開発支援期間 (予定)	2027年7月
開発企業 (アカデミア) 連携の有無	筑波大学・京都大学